

中央大学トイレ研究会

Toilet Topics 



中央大の「C」と大便器をデザインした中央大学トイレ研究会ロゴマーク

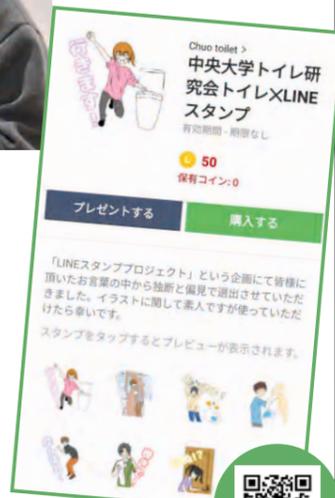
総合政策学部2年 中村 咲里佳さん (なむら えりか)

高校生の時にホームステイしたインドネシアのトイレに衝撃を受けて、トイレで国際支援ができないかと考えるようになりました。



経済学部2年 北岡 未唯さん (きたおか みゆ)

中学2年の時に刈谷SA(サービスエリア)のトイレを利用し、そのゴージャスさに「トイレって何だ?!」と疑問を抱いたのがトイレに興味を持ったきっかけです。



LINEスタンプのご購入はこちらから▶

オリジナルLINEスタンプを販売しています。イラストは北岡さんによるもの。スタンプに使う「トイレ関連ワード」を公募したところ、119件もの応募があったということです。

編集部より

トイレの面白い部分もまじめな部分もバランスよく取り入れて、瑞々しい感性のお二人でした。SNSを駆使して発信というもさすが大学生ですね。文化祭への出展やトイレトレシンポジウムへの参加、トイレ関連企業訪問など、活動のアイデアも話が尽きませんでした。今後のご活躍を期待しています!

中央大学トイレ研究会は2年生の北岡未唯さんと中村咲里佳さんによって2021年の2月に結成されたばかりのできたてほやほやの研究会。現在2名で活動しています。もともと面識はなかったものの、それぞれトイレや途上国支援に興味があったお二人。共通の知人で、トイレ研究家の白倉正子さんに勧められてトイレ研究会を発足しました。白倉さんには研究会のアドバイザーとして助言をいただいているそうです。

中央大学トイレ研究会では「国際とトイレ」をキーワードに、「発展途上国のトイレの現状を多くの人に伝え、トイレ普及に貢献すること」をミッションとして掲げています。いずれは途上国にトイレを届けるということも目標のひとつ。現在はトイレについての勉強会やトイレ業界で活躍する方へのインタビューを行ったり、その成果をSNSで発信したりしています。また、中央大学の学生に向けて、トイレを通して笑顔や元気を届けたいとも語ってくれました。

最近では、日本トイレ協会会員の方の協力も仰ぎ、オンラインでアジアコーディネーターの方からムスリムのトイレ事情や平安時代のトイレ事情など多岐にわたるお話を伺ったとのこと。中でも、途上国の生理用品の問題をフェアトレードの仕組みを利用して解決しようとする取り組みが印象に残ったということです。

各SNSをぜひ check してみてください!

Instagram @chuo_toilet

Twitter @daLLnmIYMg415Uc

Facebook @chuodaigakutoirekenqukai0708



トイレ歳時記 9月

9月1日は防災の日です。東日本大震災の際には震災後6時間で約7割の人がトイレに行きたくなったという調査があります。断水や下水道の破損で水が流せなくなる事態が想定されます。非常用のトイレの準備を確認しましょう。トイレットペーパーの備蓄も忘れずに…。

編集後記

今回、念願の乗り物のトイレについての特集を組むことができました! 船のトイレのお話、また、THE TOKYO TOILETの取材でたまたま乗り合わせたタクシ運転手さんのお話を伺って感じたのは「人間どこに行っても、困るのは結局トイレのこと」ということ。交通が発達して長時間移動するようになった近代以降の問題ですね。今度は電車や飛行機のトイレも知りたくくなりました!

あなたの町のアメニティネットワーク

コンナ イイトレ アメニティ本部フリーダイヤル ☎0120-57-1110



特集 船のトイレ物語写真展

2021年6月から8月まで、東京都小平市ふれあい下水道館で「船のトイレ物語写真展」が開かれました。この写真展では、近世から現代までの船のトイレの事情が81枚ものスライドにまとめられています。普段私たちが生活している陸地とは違う船のトイレの世界を覗いてみましょう。



船のトイレ物語写真展を企画・編集された日本下水道文化研究会の松田旭正(きよくまさ)さん

◎川の船編



隅田川河口の船

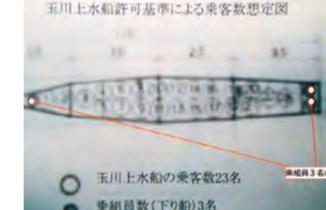
大正末期から昭和初期ごろの隅田川の河口では、多くの荷船が上り下りしていました。船では夫婦で仕事をし、小さい子供たちも乗船していました。これらの船では、「世事」と呼ばれる炊事や生活のスペースがありましたがトイレはなく、男性は川へ直接、女性は夕暮れまで待つか、我慢できないときは船端にしゃがみこんで用を足していたそうです。

玉川上水の船

玉川上水は、江戸市中への飲料水を供給するため多摩の羽村から四谷まで約43kmにわたって築られました。明治3年、この玉川上水に人や物資を運ぶ通船が実現しました。西多摩地区から東京までの輸送が人や馬から船になるということで、たいへん画期的なことでした。しかし、都心の人々の貴重な飲料水となる玉川上水を尿で汚染させることは許されません。そこで、通船の条件として「船毎に便桶売つ用意」とあり、上水をきれいに保つようと配慮されました。しかし、この便桶をどこに置くのか? また女性はどうに用を足していたのか? などの疑問は残ります。



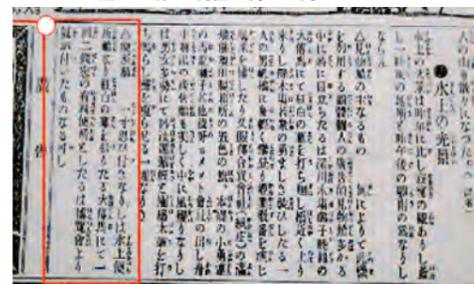
▼玉川上水船



西国の川開きに便所船登場

明治40年8月5日の東京朝日新聞の記事に、このような記載があります。『△便所船 一寸思ひ付きなりしは水上便所船なり紅白の幕を張りたる大傳馬(注1)にて一回二銭(注2)宛の有料便所としたるは博覧會より気が付いたものなる可し』 両国の川開きとは、両国橋のたもとに露店などが出たり、納涼船で花火を楽しんだりするいわゆる納涼のお祭り。人が集まるところ、しかも船上となればトイレに困ったことは想像に難くありません。そこに1回2銭で有料トイレの船を出すとは、なかなか商売がうまくいそうですね。

注1 大傳馬…近世から近代まで利用された小型船の一種
注2 二銭…現在の約400円



▲明治40年8月5日東京朝日新聞 赤線のところ:便所船に関する記載

海の船編

船のトイレ物語写真展

海の船の信仰とトイレ

漁をする小舟、漁民が生活をする船、貨物を輸送する船など、海を航行する船は様々ありますが、近代までその多くは船内にトイレは無く、船の側面や後方から海に向かって用を足していたよう

す。古くから「船には神が宿り、穢してはいけない」という信仰があったためと思われる。男性はいいのですが、女性にはたいへん我慢を強いられるものだったでしょう。

『東海道中膝栗毛』船中のトイレ

弥次さん喜多さんが東海道を旅する東海道中膝栗毛の中でも、船のトイレに関する記述があります。熱田の宮(名古屋市)から桑名(三重県)まで渡り船で渡った時のお話。弥次さんは、船中での小便に使う竹筒を宿の亭主から受け取り、尿瓶の代わりに使おうと考えていました。しかしそれは先端に穴が開いていて、船の縁から船の外に小便を排出するためのものだったのです。それを知らない弥次さんが船内で用を足したために大変なことに。船頭は船霊様が穢れると怒っています。当時は船内にし尿を貯めるといったことは特別な場合以外は行われませんでした。



▲桑名七里の渡し口



▲熱田の宮一桑名

戦艦三笠のトイレ

日露戦争の日本海海戦で有名な戦艦三笠は、明治35年にイギリスで建造されました。アメリカやイギリスの戦艦のトイレは当時は艦首にあったので「head」と呼ばれていました。日本の海軍では「厠」と呼び、厠を掃除する人を「厠番」と呼びました。トイレや浴室はすべて洋式で、汚物は便座下の排水管から貯留タンクに集められました。



▲戦艦三笠



▲戦艦三笠厠絵図



▲戦艦三笠長官用トイレ

まとめ

近世から現代までの船のトイレについて見てきました。写真展では、紙面ではご紹介しきれない貴重な資料がたくさんありました。船の汚物の処理や、今も現役で活躍している船のトイレの構造なども知りたくまりました。それはまた次の機会にお届けできればと思います。

豪華客船のトイレ

氷川丸は昭和5年から昭和35年まで活躍した豪華客船です。現在は横浜市の指定有形文化財として展示されています。



▲横浜の山下公園で展示されている氷川丸



▲船長専用のトイレと浴室。トイレの脇に洗浄レバーのようなもの。



▲女性トイレと大便器。洗浄水が黄色なのは水を再利用しているからと思われる。

小平市ふれあい下水道館

小平市ふれあい下水道館は、日本で唯一、本物の下水道管の中に入ることができる施設です。(2021年8月現在、本物の下水道館の中に入る体験見学はコロナウイルス感染拡大のため休止しています。)下水道の仕組みや歴史などがわかりやすく展示されている他、講座やイベントなども開かれ、誰でも楽しく下水道について学ぶことができます。



撮影 白汚 零
Data
小平市上水本町1-25-31
西武国分寺線鷹の台駅下車徒歩7分
042-326-7411
●開館時間 10:00~16:00
●休館日 月曜・年末年始
●入館料 無料

渋谷区の公共トイレが生まれ変わる THE TOKYO TOILET

誰もが快適に使える公衆トイレを設置することを目的に、日本財団が実施しているTHE TOKYO TOILETプロジェクト。2020年から渋谷の公衆トイレを生まれ変わらせた様子は、かわや版87号でもお伝えしました。今年また新たにオープンした4つのトイレをレポートします。

神宮前公衆トイレ THE HOUSE

CREATOR NIGO® 2021年5月31日オープン
日本のカワイイ文化の発信源、原宿竹下通りからすぐの幹線通り沿いにあるのがこちらの神宮前公衆トイレ「THE HOUSE」です。古き良き時代のアメリカの一軒家を彷彿とさせるデザインには理由がありました。こちらのトイレからほど近い代々木公園一帯には、かつて米軍施設「ワシントンハイツ」があり、このトイレはそこにあった将校用住宅「ディペンデントハウス」を模しています。デザイナーのNIGO®さんは、「消えゆくデザインを大好きな街、原宿に残せたら」と語っています。



鍋島松濤公園トイレ 森の小道

CREATOR 隈 研吾 2021年6月24日オープン
池を囲む豊かな緑が都心の喧騒を忘れさせてくれる鍋島松濤公園。木々のイメージにマッチした杉板のルーバーに覆われた5つのトイレが、地形を生かして階段の上下に配置されています。杉の森の小道を抜けて、どこのトイレに入ろうか、ちょっとした散策気分になりました。個室内部にもそれぞれに違った形の杉板がデザインされ、杉のいい香りに癒されます。取材をしたちょうどこの日、町内会の方も視察に訪れていて、近隣の住民の方の関心の高さもうかがえました。



恵比寿駅西口トイレ WHITE

CREATOR 佐藤 可士和 2021年7月15日オープン
こちらのトイレをデザインしたのは、ユニクロのロゴなどで知られる佐藤可士和さん。周囲を白のアルミルーバーで囲うことで、人の気配を感じながらも丸見えにならず、防犯面と景観配慮を両立させていると感じました。駅前待ち合わせの人も多く、このトイレの前に立っていてもトイレ感が出ずにおしゃれです。5つある個室はすべて性別関係なく利用できます。性の多様性にも配慮したこれからのトイレの一つの形なのかもしれません。



代々木八幡 Three Mushrooms

CREATOR 伊藤 豊雄 2021年7月16日オープン
代々木八幡の森を背景に突如現れた3つの巨大なキノコ。それぞれが男性トイレ、女性トイレ、車いすトイレになっています。こちらは他のトイレと違って曲線とグラデーションが印象的で、童話やアニメの世界のようなかわいらしい佇まいです。それぞれのキノコの周りには行き止まりが無くぐるりと1周できるようになっていて、死角がなく安全性が配慮されています。



まとめ

どちらのトイレも車いすやオストメイトの利用者に対応、使いやすさや入りやすさに配慮しているのはもちろん、その街や公園、まわりの環境との調和といったことをデザイナーさんが本当に考え抜いて作られているのだということが多様なデザインの中から感じました。
アメニティネットワークでは、2020年に先行してオープンした7か所のトイレを含め、月に1回の定期診断でサポートしています。その結果、日常清掃のレベルは非常に高く、快適に維持管理できているということがわかっています。しかしながら、様々な方が利用する公衆トイレの特性上、いたずらや破損なども散見されます。また、コロナ禍ということもあってか、外で飲酒をしたものと思われるゴミなども増えているということです。作る人、使う人、管理する人、すべての人が高い意識を持ち、この素敵なトイレがいつまでも快適に維持されることを願ってやみません。